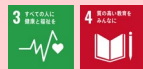


広報紙とメディアの効果的な情報発信



さくら市
総合政策部総合政策課 金田侑子氏 田中恵子氏

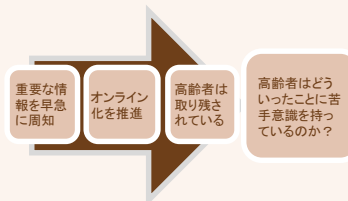
19班 コミュニティデザイン学科 木町元彌
建築都市デザイン学科 柏倉遥 關菜摘
社会基盤デザイン学科 小泉大輝 土田晃久

背景

インターネットの普及によって情報に質と鮮度が求められるようになり、その速さに置いて行かれている高齢者が問題となっている。高齢者にどのようにしてオンライン社会へ適応してもらうかが今回の課題である。スマートフォンは最も身近にあるインターネット機器であり、SNSやホームページも容易に閲覧できる。市でもSNS等を用いて情報発信をしているが、あまり活用されていないのが現状である。そこで今回の活動ではスマートフォン講座を開催したり、広報紙を用いたりして存在の周知及び誘導を目指した。

目的

急速なオンライン化によって高齢者に重要な情報がうまく届いていないのではないかと予想した。そこで、高齢者のスマートフォンに対する考え方や意識、情報の入手手段について調査を行うことによって、高齢者に重要な情報を早く正確に伝える媒体とその方法について考える。



方法

【スマートフォン講座】

実施日 6月15日
対象者 60代から80代の男女20人
初心者コース 実践コース
・Wi-Fiのつながり方 ・マチイロアプリの使い方
・ホームページの見方 ・音声アシスタントの使い方
・QRコードの読み取り方 ・LINEの実践
・LINEの使い方
・さくら市を友達追加



図1 下野新聞掲載記事

【HP作成】

高齢者向けスマホ講座で使用した資料を修正し、講座に参加できなかった方や復習したい方向けに作成した資料をさくら市HPに公開した。

資料内容
・基本知識
・さくら市HP
・LINE
・マチイロ (情報アプリ)
・音声アシスタント機能



図2 さくら市HP QRコード

【広報紙作成】

作成日程 9月下旬～11月中旬
発行日 12月1日



図3 広報紙12月号

1 スマホ講座開催

【スマホ講座アンケート】

日にち 6月15日
対象者 講座の参加者
内容
・講座の感想
・スマホの活用意欲
・情報化社会への認識
・情報取得手段
・求めるイベントや企画などについての計8個の質問

2 広報紙発行 締切10/5

【現地での広報紙認知度アンケート】

実施日 12月21日
実施場所 さくら市市民活動支援センター・さくらスクエア
氏家図書館前・氏家公民館前・喜連川公民館・道の駅きつれがわ
内容 市の情報発信についての認知度及び高齢者の情報収集手段についてのアンケート
・広報さくら・さくら市HPについて
・スマートフォンの使用について (87件の回答)
※アンケートの際、ティッシュにさくら市のHPのQRコードの読み取り方を載せた紙を入れ配った。



図4 アンケート調査の様子

分析結果

現地での広報紙認知度アンケートにて「スマートフォンを使いたくない」と回答した方に、なぜ使おうと思わないのかを尋ねる質問をした。結果は自由記述回答20件のうち、11件がスマートフォンの必要性を感じていない・電話機能だけで間に合っているという内容であった。

表1 さくら市HPアクセス数推移



12月初旬のさくら市HPへのアクセス数を見ると、100件ほど増えている。12月1日発行の広報紙への記事の掲載内容に反応した人が少なからず存在することが分かる。

アンケート結果から、情報取得手段として利用率の高い広報紙を活用して、スマートフォンやSNSの利便性を紹介することが効果的だと分析した。表からも広報紙や回覧に定期的な案内を掲載するとアクセス数が増加すると考えられる。

提案



① 広報紙の活用

スマートフォンに関する知識や機能について、定期的に広報紙へ掲載する。広報紙から情報を得る読者に、スマートフォンを身近に感じてほしい。



② スマートフォン講座

高齢者向けのスマートフォン講座を定期的に開催する。スマートフォンに関する悩みを解消することで、より情報の入手手段として活用してもらうことを期待する。



③ 体験コーナー

公民館や図書館にタブレットやスマートフォンに触ることができる体験コーナーを設置する。このスペースには駐在の職員がおり、気軽に悩みを相談できる環境になる。



図5 掲載記事